

飲水思源

自動車販売のリーダー

1

菊池武三郎伝

好評だったテレビドラマ「LEADERS リーダース」(TBS)。第1部では、トヨタ自動車の創業者、豊田喜一郎をモデルとした愛知佐一郎を中心に、国産自動車の開発に生涯を懸けた人々が描かれた。今年3月には、自動車販売に情熱を傾けた人々に焦点を当てた第2部を放送。いずれも事実に基づいて描かれたドラマで、第2部の菊池武三郎のモデルが、日本の自動車販売の草分け的存在で、奈良トヨタ自動車創業者の菊池武三郎(明治27年〜昭和48年)だった。今回、ドラマの脚本の資料の一つとされた「伝記・菊池武三郎」(冷水茂太著)から、菊池武三郎とその時代をたどる。(文中敬称略)

故郷・日向

「私は神武東征に従った日向の子孫だから、何とか奈良で成功したいと思っていましたよ」

昭和48年、故郷の宮崎市を訪れた奈良トヨタ自動車会長の菊池武三郎は、地元新聞記者のインタビューにこたえた。宮崎に生まれて少年時代を

菊池武三郎



「奈良での成功」胸に

過し、奈良で事業を始めて苦闘の末に日本を代表する自動車人となった風雲児が、久しぶりに帰った故郷で、思わず口に出た寓(こゝろ)意だったのかも知れない。

宮崎には天孫降臨の神話があり、市の中央にある神武天皇を祭る宮崎神宮は、奈良の橿原神宮と並び、わが国で最も格式高い神社。日向から大和へ、彼もまた東征の道をと延岡の中間にある、日

向灘に面した古い町。武宣の営んでいた菊池医院は、現在の都農町一の宮にある都農神社の境内にあった。

菊池家はかつて宮崎県佐土原町に住み、代々、医を業としていた。宮崎は天領だったが、広瀬は佐土原藩という小藩

に61歳で没している。性重厚にして古武士のおもかげがあり、町医者だったが、一個の風格を持つ人物であった。

武三郎は物心のつかないうちに母をなくし、ばあやに育てられる境遇だった。だが、経済的には豊かな医者の子として何不自由なく成長し、小学校を卒業。当時都農町には中学校がなく、汽車で1時間ほどの延岡市立延岡中学校に入学した。翌年の明治42年には、宮崎県の名門校の県立宮崎中学校に転入している。

の典医だった。だが明治維新の廃藩置県で藩医の職を失い、広瀬から都農町に移って開業医となった。

武宣は安政2(1855)年生まれ、大正6年(1917)年、毎週金曜日掲載